

登録コード	E2501900	開講年度	2026				
授業科目	絵画実習					担当教員	中野 良寿
英文授業名	Practice of Painting					副担当	
単位数	1	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・4時限～5時限前半	対象学生	
講義室	教育N106			授業形態	実習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					絵画史について説明できるようになる。 造形的絵画作品が制作できるようになる。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					絵画の制作理論について説明できるようになる。 絵画。素材や技術について説明できるようになる	
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	絵画における絵画史や造形理論、素材及び技法を伴う発展的な内容を含む実習を行う。						
(5)授業計画	1)ガイダンス 2)風景スケッチ(1) 3)風景スケッチ(2)講評 4)油彩風景(1) 5)油彩風景(2) 6)油彩風景(3) 7)油彩風景(4) 講評 8)現代アート1課題(1) 9)現代アート1課題(2) 10)現代アート1課題(3) 講評 11)現代アート2課題(1) 12)現代アート2課題(2) 13)現代アート2課題(3) 講評 14) 全体の振り返りと講評（意見交換を含む）及び授業アンケート						
(6)成績評価の方法	到達度を測る課題（レポート、作品講評、作品提出）と、学習状況を含め評価を行う。						
(7)成績評価の基準	授業で示した基本レベルの作品であれば、「水準にある」，オリジナリティが有れば「やや上にある」，探求心とインパクトが有れば「かなり上にある」，総合的な作品の完成度が有れば「卓越している」。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀，89-80% 優，79-70% 良，69-60% 可，59%以下 不可。						
(8)事前事後学習の内容	課題テーマに関する基礎知識の習得及び、課題制作						
(9)履修上の注意	実技課題を伴う						
(10)質問，相談への対応及び連絡先	090-9003-6944(中野)						
【教科書】	特になし						
【参考文献】	美術科教育の基礎 単行本 建帛社						